

社会福祉法人 交響は、こんなところです



本来一人ひとりが光り輝く存在であり、「障害」を抱えた人たちも分けへだてなく共に生きることのできる社会こそが「豊かな社会」である故 糸賀一雄氏 (1914年 3月29日 - 1968年 9月18日)



2019年
プラチナ認証
法人 取得

【法人本部 基つつき・うぐいす共同作業所】
〒732-0013 広島市東区戸坂南一丁目27-2
TEL:082)229-7005 FAX:082)229-7008
URL: https://www.koukyou.or.jp/
E-mail: kitutsuki@koukyou.or.jp

【SOARきつつき(ベーカリーカフェ)】
TEL:082)236-7380 FAX:082)236-7381

【地域支援室 交響ホーム】
TEL:082)562-2025 FAX:082)562-2028
【東区障害者基幹相談支援センター こうきょう】
TEL:082)573-0140 FAX:082)229-7008

交響は、約17年間に及ぶ関係者の「おもい」が土台となって、今があります…

Koukyou

since 1981 小規模作業所からはじまりました。



↑ 小さな民家からはじまりました。
みんなでテーブルを囲んで…



- ・1979 養護学校の義務化により、重度・重複障害の人々も学校へ行けるように…
- ・しかし、次は養護学校卒業後にいくところがない…
- ・1981 小規模作業所を開設

すべての障害者に働く場と生活の場を「夢…つくり」をキャッチフレーズに

「共同作業所は、わが国に生まれ育った障害者とその家族、ボランティアによる、障害者の働く権利と文化的に生活する権利、社会活動に参加する権利を自らの手で守り、その実を創り出そうとする、世界に類のない独特の活動体です。」(故 秋元波留夫氏 精神科医)

1997 みんなの力で社会福祉法人化を実現
ねがいは、みんな「交わり響き合う」 そんな法人に



Over the moon to work with you

あなたに会えてよかった… 利用者・家族・職員が互いにおもい合える支援を

・障がいのある人たちとともに 日々を過ごし、「ともに笑い、ともに悲しみ、ともに感動する」…この体験が私たち自身を成長させてくれることに気づく。

・利用者の仕事をどうしていくか、プログラムを考えること、生活をどう支援するか…など 必死で考えるときはスタッフみんなで考える。

・誰かのことを考える 私たちは利用者のことを考える…ところが、あるときに「元気？」と利用者から問われる。「ありがとう…」



みんな一度限りの尊い命 とともに過ごしながらお互いをおもい合う「あなたに会えてよかった…」と感謝する自分に気づく…

そんな職場でありたいとおもっています



事業所 紹介写真

日中活動の場

法人本部 所在 広島市東区戸坂南1-27-2



第一・第二きつつき共同作業所 生活介護(第一共生型) 各20名



うぐいす共同作業所 生活介護 20名 ↑



SOAR(ソアー) ベーカリーカフェSOAR 就労継続B 25名 ↑

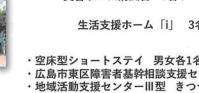
グループホーム



交響ホーム戸坂山根(ホーム事務所) 10名



交響ホーム清風台 4名 ↑



生活支援ホーム「U」 3名 ↑



交響ホーム戸坂第一 6名



交響ホーム戸坂第二 10名



- ・空床型ショートステイ 男女各1名分
- ・広島市東区障害者基幹相談支援センター こうきょう
- ・地域活動支援センターIII型 きつつき第三

みんなが、少しでも安心して暮らせるように スタッフを募ります

2021年4月 重症心身障害(医療的ケア)の方が利用できる生活介護事業所 和音 開所



3階建てです



上空から撮影しました



特殊浴槽があります



作業室も広さに余裕を持って…

重症心身障害という重い身体障害を重複する人、たん吸引などの医療的ケアがいる人たちには、まだまだ安心して通える事業所は少ないです。

知的に重い人たちの支援の難しさが、進路に悩むこともよく聞きます。

家族の支えも多く必要です。そういった人たちの暮らしを家族を含めて、法人としてほんの少しでも応援できる「生活介護事業所 和音」が開所しました。

製パン、製菓の工房とベーカリーカフェ、スキルに応じて、2ヶ所の事業所を実施

実施事業 日中活動 生産活動中心型事業

(生産活動中心) 生活介護事業 第一きつつき共同作業所(製パン・製菓グループ 10名程度)

小規模作業所(社会福祉法人化の前身)から続く製菓・製パンは、高い評価を頂いています。



オリジナルレシピの製菓事業



製パンによるベーカリーカフェSOARの店舗運営と協力機関、団体への訪問販売を実施



SOAR(ソアー) きつつき(定員25名)

就労継続B型事業



スタッフインタビュー

SOAR(ソアー) きつつき(就労継続B型) 勤務6年



利用者さんと一緒にパンの販売や製造をしており、楽しく働きたい・スキルアップをしたい・一般就労をしたいなど、それぞれの目標に合わせた支援をしています。安心して楽しく働ける環境づくりやニーズに沿った作業設定。また、月に4回程接遇や対人スキル・作業スキルを高めることを目的とし、利用者さんに向けた接客講座を行なっています。学だけでなく楽しめるプログラムとなっています。

毎日、一生懸命取り組むことで、苦手だった作業や接客、成形ができるようになる姿や少しずつ自信をつけていく姿を身近で見守ることができ、嬉しさややりがいを感じています。「笑顔が素敵だね」「頑張ってる」「このパン美味しいよ」と声をかけてくださるお客様も多く、地域の方々からも応援して頂いているのだと感じています。日々、支援をしていく中で、難しさや悩むこともありますが、利用者さんの笑顔や頑張る姿を見ると、私も元気がパワーをもらっています。

スタッフインタビュー

きつつき共同作業所(生産活動中心 生活介護) 勤務5年



お菓子班は10人前後の利用者さんと職員3人で主にクッキーやマドレーヌ、ケーキ、パンの製造を行っています。利用者さんの調子に合わせた仕量量の調整や仕事内容を考え、テレビの話やご飯の話をしながら作業をすることで、仲間に負担なく、楽しく作業ができるように心がけています。

お菓子班の利用者さんは言葉でコミュニケーションができると思われそうですが、実際には言葉で伝えても、本当は伝わっていない時や、間違えて解釈してしまっている時があるため、ゆっくり理解できるように言葉以外のものを使って伝えていくことも必要です。

また一方で、言葉で伝えることができるため、本当の思いだったり、事実を隠して伝える方もいます。

そういった方が隠さずに思いを伝えられるような関係性を築いて、少しずつでも本音を引き出していけるようになった時にやりがいを感じています。

日中活動 生活介護 1

第一きつつき共同作業所 (生活介護事業 定員20名)



身体障害のある人たちが中心となっているグループです。
P.T.の指導を受けて、リハビリを行ったり、体調管理をしながら、作業を行っています。

平和公園の千羽鶴再生紙名刺は、代表的な仕事になっています。

広島が本社の企業から印刷仕事を委託されています。工賃の中心的な生産活動です。

家庭用ふきんの製造

一番大きなグループです

第二きつつき共同作業所 (定員20名)

日中活動 共生型サービスの実施で、これからのいっしょに…

第一きつつき共同作業所

共生型サービス(老人デイサービスの定員内 一部追加)
平成31年4月 認可予定

地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律により、「障害者が65歳以上になっても、使い慣れた事業所においてサービスを利用しやすくする」、…中略…高齢者や障害児者が共に利用できる「共生型サービス」を介護保険法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法に規定しました。

厚生労働省 事務連絡平成30年 1月10日



65歳になったら、
介護保険施設へ…
…なんて言わない
支援できるまで、一緒に
笑顔ですごそう…

平成31年節分レクにて



スタッフインタビュー

きつつき共同作業所 (生活介護)



千羽鶴の解体やデッキ作業、布きん作りのほか、ラベル印刷の請負、千羽鶴再生紙を使用した名刺作成などパソコンを操作する作業にも取り組んでいます。今身についている作業を継続するだけでなく、作業を通して新たな経験を積み、個々の自信に繋がるような支援を心掛けています。

また、フロアの一室では主に身体障害の仲間への支援を行っています。車椅子に乗車をしている方と目線を合わせながらコミュニケーションを取ることで、自然と笑みがこぼれるような楽しい時間を共に過ごしています。

利用者さんと職員とが打ち解け合いながら、共に成長し合える日々にとってもやりがいを感じています。写真や文章では伝わりきらない当法人のアットホームな雰囲気、見学や体験等で感じて頂けたら幸いです。

比較的障がいの重い人たちが、楽しい日常を送れるようにプログラムを考えます

日中活動 生活介護 2

うぐいす共同作業所 (定員20名)



広汎性発達障害(自閉症など)や集団生活が苦手であったり、活動環境に配慮が必要な利用者の方のグループです。

スタッフは、常にその日その日を振り返りながら、パーテーションなどを利用して、環境改善を行うなど、スタッフのチームワーク、家族とのコミュニケーションを大事にしています。

スタッフインタビュー

うぐいす共同作業所 (生活介護) 勤務5年

うぐいす共同作業所では、主に広汎性発達障害(ASD/自閉症スペクトラム障害)の方たちが多く利用されています。自閉症の障害特性を理解して、ひとりひとりに合わせた作業を行えるように支援をしています。(一社)千羽鶴未来プロジェクトとの共同事業で、千羽鶴の解体や千羽鶴の色分けを行っています。また、その人の特性にあった作業を数種類を行うことで、重い障害の方も「はたらく」意識をもてるようにしています。

障害の特性や程度からコミュニケーションをとることが難しい場面が多くありますが、職員の関わりや、支援を積み重ねることによって、信頼関係を気づけたとき、とてもやりがいを感じることもできる職場だと思います。



日中活動 きつつき第三作業所 (地域活動支援センターⅢ型・グループホーム)



主に精神障害のある利用者さんが中心です。人生の途中で障がいを抱えてしまい、生活のリズムづくりや一歩一歩、回復をめざすことが必要な方たちがいます。

きつつき第三作業所は、一人ひとりのリズムに合わせて通うことができるようにと、利用がしやすい自治体の制度である地域活動支援センターⅢ型としています。

スタッフは食事の管理や投薬管理、日々の暮らしのサポートなどをこなしています。

スタッフインタビュー

きつつき第三作業所 (地域活動センターⅢ) 勤務4年

私は、きつつき第3作業所という地元密着の事業所で主に精神障害の方の支援をしています。生活リズムを整えたい方、将来的な社会復帰を考えられている方、楽しく作業所に通いたい方など、様々な方がいらっしゃいます。精神障害であるがゆえの「おもしろい」が「いけない…」辛さも抱えながら生活をされている方もいます。

忙しい時もありますが、笑いも絶えず、和気あいあいとした雰囲気の中で作業をしています。屋敷も利用者さんと一緒に作ります。

作業所でのやりがいは、難しい作業ができるようになった時、一緒に喜ぶことや、会話や日々のことです。なかには「ここほどいい作業所はない」と言ってくださる方もいます。

私にとってはみなさん人生の先輩ですので、逆に励ましてもらったりしながら、それだけ、ここが皆さんにとって大切な居場所になっていると感じると嬉しいです。



ちよつとん 柳

グループホームの支援 地域課題で緊急受入にも対応することもあり、地域の福祉資源としての役割が高まっています。

グループホーム 5ヶ所 清風台・戸坂第一・戸坂第二・戸坂山根・生活支援ホーム「i」



当法人には、第三作業所のホームを入れると6ヶ所のグループホームがあり、すでに37人の利用者が生活しています。

働くことも大事、でも安心できる暮らしがあってこそ… ホームのスタッフは、支援はひとりの場面が多いけれど、チームワークはバツグンです。利用者のホームでの様子を伝え合い、一人ひとりのいる情報を知り、暮らしをつかっていきます。集団の暮らしではあるけれど一人ひとりのかけがえのない暮らし…そんなおもいで支援をしています。

また、地域で緊急に支援が必要となった方がいた場合もチームワークで対処します。

スタッフインタビュー

交響ホーム（グループホーム） 勤務4年

交響ホームでは現在約35名の方が生活されています。日中は作業所などで仕事をし、仕事を終えるとグループホームに帰宅されます。

ホームでは日中の疲れを取ってもらえるようリラックスできる環境づくりを心掛けています。一般的な家庭と同じ作りで一人ひとりに居室があり、テレビやラジオ、漫画など自分がしたいことをされながらのんびりされています。

私の仕事のやりがいは、いつも通り夕食を作り、食べ終えると「今日のご飯美味しかったよ！ありがとう」と感謝の言葉をもらったり、笑顔で過ごされている時になったと実感するとき、楽しい空間になって良かったなと感ずることが嬉しく、もっと頑張ろうと感じます。



地域における公益的な取組（社会福祉法人が地域の資源として）

地域とともに…

社会福祉法人として公益的な事業も大事にしています



きつつき夏まつり（毎年7月開催）
すでに小規模作業所から数えて37回、作業所のことを知ってもらいたい、作業所に足を運んでもらいたい…。日頃からの支援に感謝して開催しています。これからも「交響」の地域活動の原点です。

地域であたりまえの存在として…



地域とつながる3つの広場

はくらく広場（月1回）
地域の子どもの交流の場を同一地域の社福4法人と企画
へさが福祉のひろば（毎年11月開催）
地域に事業所の事をもっと知ってもらいたいと願い実施しています。



福祉通りあいあい広場（毎年5月開催）
すでに30年以上応援して頂いている地域で、感謝を込めて開催しています

広島市東区障害者基幹相談支援センター こうきょう

基幹相談支援業務

広島市からの委託業務です。
・総合相談、専門相談
・3障害対応ワンストップ相談、困難事例の対応等
・権利擁護、虐待防止のための活動
・地域の関係機関をネットワーク化し、広島市自立支援協議会等の業務の実施

特定相談支援業務（計画相談・障害児等）

サービス等利用計画の作成や更新、モニタリングなどを実施して、福祉サービスの利用調整を行います。



広島市委託相談支援業務（一般相談）

広島市からの委託業務です。主な業務は
・障害者福祉サービスとの利用援助
・社会資源を活用するための支援
・社会生活力を高めるための支援
・権利擁護のための必要な援助
など、障がいのある人の暮らしについての相談に対して、福祉事業所等と連携して対応します。

なによりも笑顔、そしてその表情から「おもしろい」を受け止める…

支えあい、ともに…ことを大事にしています



なによりも
えがおを大事にしながら



がんばってるねえ…



給食おいしかったよう…

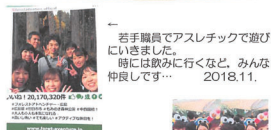
個別支援計画の説明 家族（保護者）面談をしています。
できるだけ、利用者本人が分かりやすいように
楽しかったり、がんばってみようという励ましや…
スタッフも利用者と一緒に暮らす時間を
「ともに…」そんな思いで…

こんな未来もご紹介

給与例

勤務10年目 女性職員（男女差はありません）社会福祉士 自宅から通勤
基本給 248,200 資格・職務手当 10,000 賞与3.5ヶ月分
交通費 超過勤務月10時間程度 年収 4,261,000円

休日には、こんなことも



若手職員でアスレチック遊びにいきました。時には飲みに行くなど、みんな仲良しです… 2018.11.
気の合う職員仲間と、USJに遊びに行きました…



私は、休日には、マラソン大会などに挑戦しています。健康のためだけでなく、走ることが、「またがんばろう」という気持ちになります。

きつつき共同作業所 生活支援員

私たちの仕事は、障害のある人とともに生活すること。だから、休日の支援が必要なこともありますが、家族の時間を大切にしながら、家族の時間を大切にします。

きつつき共同作業所 主任



おいしいお菓子 みんなで工賃アップ



ホームのスタッフ みんなの暮らしの応援団

交響でいっしょに働きましょう

2017.10.15. 法人化20周年記念式 職員誓いのことばから

支援者として仕事をしているのに、実は辛くなった時などは、仲間や笑顔に助けられ、心から支えられて日々働くことができていくことに気が付きます。これからも一人ひとりの命と心を大切に、人生が輝くものになるよう、「ともに」成長しながら歩んでいきたいです。



本人の支援 本人家族の意思決定をたいせつに